

★医師が記入した「意見書」(診断書)が必要な感染症

＜意見書＞

あゆみ保育園

組 園児氏名 _____

病名「 _____ 」

_____年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と認めます。

_____年 月 日

医療機関 _____

医師名 _____ 印またはサイン _____

※「意見書」はこのページをコピーしてお使いください。

また、あゆみ保育園のホームページ「保護者の方へ」感染症について」からもダウンロードすることができます。

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行はできるだけ防ぐことで、子どもたちが一日快適に生活できるよう、保育園児がよくかかる下記の感染症につきまして意見書（診断書）の提出をお願い致します。感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活に可能な状態となってからの登園であるよう、ご配慮下さい。

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日経過していること
風しん	発しん出現の7日前から7日後くらい	発しんが消失していること
水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱：プール熱（アデノウィルス）	発熱・充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性角結膜炎（アデノウィルス）	充血・目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111など）	—	医師により感染のおそれがないと認められていること。（無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄習慣が確立している5歳以上の小児については出席停止の必要はなく、また、5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である。）
急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること

★医師の診断を受け、保護者が記入する「登園届」が必要な感染症

＜登園届＞

あゆみ保育園

組 園児氏名 _____

病名「 _____ 」

年 月 日 医療機関「 _____ 」において、
 症状も回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。

保護者（ _____ ）印又はサイン

※「登園届」はこのページをコピーしてお使いください。

また、あゆみ保育園のホームページ「保護者の方へ」感染症について」からもダウンロードすることができます。

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行は出来るだけ防ぐだけでなく、子どもたちが一日快適に生活出来るよう、保育園児がよくかかる下記の感染症について、登園の目安を参考に、かかりつけ医の診断に従い「登園届」の提出をお願い致します。子どもの回復状態が保育園での集団生活に適應できる状態に回復してからの登園であるようにご配慮下さい。

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているため注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
带状疱疹しん	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
突発性発しん	—	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと